

D01 深層インタラクション

おすすめ

アバターを使って海外で働こう！

概要

サイバネティックアバター(CA)は、自分の分身として遠隔操作できるロボットです。CAを使えば、いつもの場所にいながら、国や地域を越えて働いたり、さまざまな人と交流したりできます。本展示では、誰もが自分らしい方法で社会に参加できる「アバター共生社会」の実現に向けて、国内外の研究機関や企業と進めている研究・実証実験を紹介します。

特徴

- CAの国境を越えた活用に向けて、国内外で実証実験を進めています。2024年には、UAE Dubai Future Labsとの共同研究を開始し、さらに、2026年からはシンガポール国立大学(NUS)との連携も始まり、国際的な取り組みが広がっています。
- 大阪(グラングリーン大阪)とUAE(Dubai Future Labs内)に、研究者や企業がCAを実際に試して活用方法を考える「オープンラボ」を開設しました。これらの拠点やシンガポールとの連携を通じて、国や地域を越えた実証実験を進めます。
- 189法人が参加する「アバター共生社会企業コンソーシアム(C-CAS2)」とも連携しています。研究・ビジネス・社会制度の3つの面から、CAを国や地域を越えて活用するための可能性や課題を検討しています。

今後の展開

- 海外の研究機関との連携をさらに広げ、CAを使って国や地域を越えて働くための実証実験を進めます。住んでいる場所や時間、身体的な事情にかかわらず、誰もが自分に合った方法で働き、社会に参加できる未来を目指します。

テーマ「京都府と共に創るいのちの未来」との関連

- 身体的・認知的な特性、生活環境、価値観の違いが社会参加の制約にならず、誰もがCAを通じて自分らしく能力を発揮できる社会を目指しています。多様な人々が互いの違いを認め合い、ともに活躍できる「いのちの未来」をつくります。

